

第2部課程第171期（平成26年10月7日～12月18日）

課 目 名	2-4 公会計改革とこれからの自治体の財政運営
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	関西学院大学 大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 小西 砂千夫 1960 年 大阪市の生まれ 1983 年 関西学院大学経済学部卒業 1997 年 博士（経済学） 助手、助教授などを経て 1998 年から教授 2008 年から現職
ね ら い	地方分権の進展に伴って、地方においても適切な財政運営を行い、情報開示を通じて住民に対する説明責任を果たすことが求められている。 本講義では、我が国の公会計制度の課題や地方公共団体における公会計制度改革の取組を紹介するとともに、今後の更なる改革とこれからの自治体の財政運営のあり方について、理解することをねらいとする。
講 義 概 要	次の諸点について解説する ①公会計改革が実施されてきた経緯や、その背後にある考え方について ②現金主義会計と発生主義会計の考え方、および両者の関係について ③建設公債主義の考え方と、発生主義会計および建設主義会計との関係について ④財政運営における議会による事前統制の重要性と現金主義会計について ⑤いわゆる財務諸表の活用について ⑥自治体財政健全化法と公会計改革との関係 ⑦地方公営企業会計の改革および財務適用の拡大 ⑧財務 4 表の形式の統一について
受講上の注意	やや高度な内容なので、あらかじめ、拙著「公会計改革の財政学」（日本評論社）で予習をすることが望ましい。また聴講にあたっては、細かい言葉の定義にこだわることなく、全体的な流れを重視して聞いていただきたい。
使 用 教 材	小西砂千夫「公会計改革の財政学」日本評論社
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし